



今月のシーニック・バイウェイ



「日豊海岸岩ガキまつり2017」開催中！6/1～佐伯市でも始まりました。

日豊海岸岩ガキまつりとは、宮崎県日向市・門川町・延岡市と大分県佐伯市の3市1町のお食事処21店舗にて、新鮮なイワガキ料理が堪能できます。

”岩ガキ前線北上中”を合い言葉に4月から順次スタートし、いよいよ佐伯市でも開催です。8月31日までの開催で、スタンプラリーも実施しています。ぜひ、この機会にフリップのイワガキを味わってみませんか？

地域資源（宝）の紹介コーナー



自然・景観資源

◆赤石山山頂（佐伯市蒲江） 蒲江ICから車で5分

皆さんは、地域おこし協力隊をご存知でしょうか？地域おこしや地域の暮らしなどに興味のある都市部の住民を受け入れて地域協力活動に従事してもらい、一連の活動を通じて、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

蒲江でも佐伯市地域おこし協力隊が昨秋より活躍しています。活動のひとつに”蒲江の魅力再発掘”があり、その取り組み成果のひとつとして赤石山ウォーキングMAPを発行しました。以下に赤石山を紹介します。

赤石山は、小蒲江地区にある戸高源之助さん所有の山です。もともとは、魚の養殖筏への天候影響を山から確認するために戸高さんご自身で山頂へ道を切り開きました。その結果、赤く咲くツツジや青色が日々変化する海の景観の素晴らしさに気づき、蒲江の観光に活かしたいと思い立ったそうです。

ビューポイントは山頂です。屋形島や深島の景色が寄り添うように並んで綺麗に見える蒲江で一番の場所です。（赤石山ウォーキングMAP掲載 赤石山物語より抜粋）

地域おこし協力隊の成果としてこの他に、蒲江散策、背平山ドライビング、高平山ウォーキングなどシリーズ化したMAPがあります。以上のMAPは、「道の駅かまえ」で入手できます。

～蒲江の魅力再発掘～



赤石山ウォーキングMAP



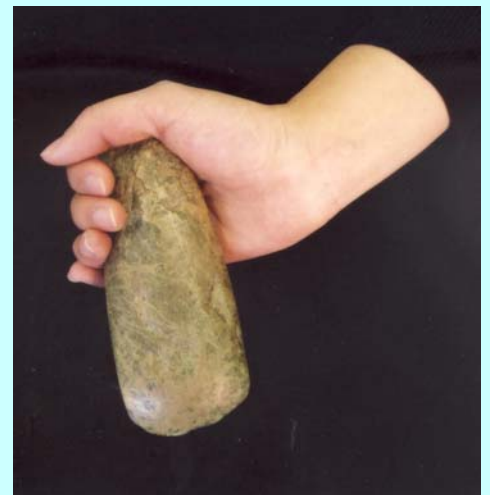
歴史・文化資源

◆石 斧（佐伯市蒲江） 蒲江ICから車で20分

この石斧は、畑野浦の扇山の3合目、塩月家の開墾地より発見されたものです。この付近から縄文土器の破片が見つかっていましたが、その他の矢じりなどは見つかっていません。また古代文化の存在を裏付けるような独自の遺跡も発見されておらず古代居住地を思わせるものもありません。

このため、必ずしもこの地において縄文時代に生活が営まれていたと断定することはできないでしょう。しかし、この石斧から当時この地に原住民というべき人々が居住し、主として漁労、狩猟の生活を営んでいたことが想像されます。

（旧蒲江町教育委員会「蒲江町の文化財」より）



石 斧



歴史・文化資源



◆北浦の郵便

明治7年、現在の北浦町の一部を構成する古江村に郵便が届くようになりました。当時郵便は宮崎を起点として現在の国道10号線にあたるルートで延岡へ伸びていたが、それ以外に支道郵便が設けられ、明治17年12月に延岡—古江往復ルートが開設されました。1ヵ月9回の定期便で、3と6と9のつく日に1往復していました。このとき古江村に郵便取扱人が置かれ、郵便業務にあたりました。しかし、一体どの様なルートであったのでしょうか。大変な苦労が容易に想像できます。

今年6月1日に郵便料金が改定され、はがきが52円から62円に値上げされました。売上げが減少し続ける中で、郵便事業を維持するための方策です。150年程前は市内半銭、市外1銭程度でした。いずれにしても、低価格です。

道路の整備に伴い郵便配達網も整備され、北浦のような辺境もその恩恵に与ってきたが、ITと呼ばれる技術の進化により、その需用は確実に減少しています。様々なものが急速に変化する時代に、百五十年前の郵便管理人が見ていた風景(昔は海道だったかもしれないが)に思いを馳せながら、すばらしい景観の北浦バイウエイをドライブしてみたいはいかがでしょうか。



現在の北浦郵便局



食



◆地下茶山の茶摘み体験

北浦小学校の3年生27名と元気塾高齢者10名が茶摘み体験を行いました。

茶摘みが行われたのは、日本の里百選に選ばれた地下茶山です。弘川展望台に続く道路沿いに広がるとてもすばらしい景観の茶畑です。地域の子供とお年寄りが茶摘みから釜煎りまでを協同で行うことで、世代間の交流を深めています。



お知らせ

◆「北浦～島浦横断遠泳大会 2017 Ocean Swimming in NOBEOKA」

7月2日(日)に下阿蘇ビーチをメイン会場に、「北浦～島浦横断遠泳大会 2017 Ocean Swimming in NOBEOKA」が開催されます。

国道388号線沿いにある下阿蘇ビーチをスタートし、ビーチから2kmの沖合に浮かぶ島野浦島に泳いで渡るオープンウォータスイミングです。遠くは北海道から市内外約100名の選手が参加し個人戦と団体戦が行われます。

地元北浦町からも出場されますので、応援を宜しくお願いします。

また、今回はテレビ撮影用の特別枠としてUMKのアナウンサーが出演します。



お知らせ

◆EV(電気自動車)充電スタンド設置！

「道の駅かまえ」にEV(電気自動車)の充電スタンドが設置されました。1回30分間の急速充電式(200V)で、1分間30円で充電ができます。(エネショップ会員は1分間20円)

「道の駅かまえ」の休業日(12月31日～1月1日)以外は24時間いつでも利用可能ですので、EV車で蒲江にお越しの際は是非ご利用下さい。



充電スタンド

道の駅かまえ



シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆
URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>



日本風景街道

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先



日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489